

麦の生育と管理

令和5年1月号
大分県北部振興局集落営農・水田畑地化班

◎麦踏みと土入れ

麦踏みと土入れは、様々な効果があり重要な中間管理作業です。

	効果	作業時期	作業回数	注意事項
麦踏み	茎数増加 生育を抑える 耐寒性向上 耐干性強化 倒伏防止 凍霜害の防止	麦の3葉期 ～ 茎立期	3～4回 ※生育過剰の際は、 回数を増やす	作業は土が乾き、 ローラーに土が 付かない時に実施。
土入れ	除草・幼穂保護 無効分げつ抑制 倒伏防止 排水強化	麦の4葉期 ～ 茎立期	2回 ※生育過剰の際は、 回数を増やす	作業は土が乾いた ときに実施。 1回目は土を薄く かける。

◎肥培管理 穂数確保のため3～4葉期頃に分げつ肥を施肥しましょう。

10aあたり分げつ肥の施肥量（例）

小麦 ・大麦	適期	施肥量	
	麦の4葉期頃 (12月中旬～ 1月上旬頃)	窒素量	化成肥料 16-0-16
		2kg/10a	15kg/10a

- ・安定した収量や品質を得るには適切な肥培管理が必要です。
- ・分げつ肥の主な目的は穂数の増加、穂肥の目的は粒数の増加です。
それぞれ目的が異なるので、必ず分けて施肥しましょう。

パン用小麦「はるみずき」の特徴と注意点

- ①生育ステージが早い ミナミノカオリに比べ、茎立期～出穂期の成長スピードが速く、
出穂期は8日、成熟期は5日早い早生品種。
- ②生育前半の葉色はやや淡く、やや株が開く。③穂は白い。④穂数はやや少なく穂長は長い。
- ⑤稈長が低く、耐倒伏性にすぐれる。⑥うどんこ病耐病性については【中】。
- ⑦分げつ肥、穂肥に加え、**実肥も必ず施肥**しましょう。

基肥 分げつ肥 穂肥 実肥（穂揃期～開花期4月上中旬頃）
窒素施用量 5 — 2 — 5 — **6** kg/10a

分げつ期（4～5葉期）

茎立期（幼稈長2cm頃）



はるみずき

ミナミノカオリ



はるみずき

ミナミノカオリ

◎雑草対策 ～生育期の除草適期について～

- ・生育期除草剤は、雑草が大きくなる前にタイミングを逃さず散布しましょう。
- ・雑草が繁茂すると収量や品種の低下を招きます。
- ・特に、カラスノエンドウ等の種子の混入には注意しましょう。

◎除草剤の使用ポイント

- ・毎年同じ薬剤を連続して使用しない！
- ・散布直後の雨に注意！雨が降ると除草剤が効きにくくなります。
- ・気温が上昇する(気温20℃以上)と、薬害のリスクが高まります。
- ・天気予報や土壌水分を確認して散布しましょう。

生育期除草剤

薬剤ごとに使用時期、使用回数が異なります。
ラベル等をよく読み使用しましょう。いずれの雑草も発生初期に防除しましょう。

薬剤名	ハーモニー75DF水和剤	MCPソーダ塩	バサグラン液剤
適用雑草・散布適期	一年生広葉雑草 スズメノテッポウ5葉期まで カズノコグサ1～3葉期	一年生及び 多年生広葉雑草	畑地一年生雑草 (イネ科を除く) 雑草の3～6葉期
	※注1) ハーモニー抵抗性スズメノテッポウには効果なし。	※注2) アクチノールの代替薬剤。バサグランとの混用散布可。	
使用時期	小麦 は種後～穂ばらみ期 (但し収穫45日前まで) 大麦 は種後～節間伸長前	幼穂形成期 但し収穫45日前まで	小麦 収穫45日前まで 大麦・裸麦 収穫90日前まで
使用量	5～10g/10a	200～300g/10a	100～200ml/10a
希釈水量	50～100ℓ/10a	70～100ℓ/10a	70～100ℓ/10a
使用回数	1回	1回	1回

水稻品種 **大分なつほのか** の紹介



「なつほのか」は、鹿児島県で育成された水稻品種です。
鹿児島県と長崎県で奨励品種に採用されており、大分県でも近年の高温に対応するために令和4年産から作付を推進しています。

「ヒノヒカリ」と比較して

- ◆出穂期は4日、成熟期は7日程度早い
- ◆稈長、穂長は同程度、穂数はやや多い
- ◆大粒で千粒重は重く、収量性は高い
- ◆玄米品質が優れ、食味は概ね同程度
- ◆高温耐性に優れ、耐倒伏性も強い
- ◆いもち病には「ヒノヒカリ」と同様に弱い

	なつほのか	ヒノヒカリ
出穂期	8月23日	8月27日
成熟期	10月8日	10月15日
玄米重 (kg/10a)	641	594
千粒重 (g)	23.2	21.4

(農林水産研究指導センター水田農業グループ)

※種子の注文については、JAおおいた北部事業部または北部振興局にお問い合わせください

周囲に配慮のある農作業をお願いします

トラクター等で移動する際、道路に土を落とさないようにしましょう。
また、作業する際は道路に自動車を長時間停車しない、堆肥は完熟堆肥を散布するなど、周囲への配慮を忘れずに作業をしましょう。